

# オープンく 台地 in OSAKA VOL.5

上町台地と、ここで暮らす人の  
魅力を感じるまちびらき

2014.11.28-12.7開催

# REPORT



# オープン台地 in OSAKA VOL.5

今回で5回目となる、まちびらきプログラム  
“オープン台地 in OSAKA”。  
47プログラムが10日間にわたり開催されました!

## オープン台地 とは?

上町台地ならではの  
建物や空間を一挙に開く  
まちびらきプログラム  
コレクション!!

北は天満橋から南は天王寺周辺まで続く帯状の高台には、様々な時代を起源に持つ多くの歴史・文化が息づいています。そして、現代も「まち」「暮らし」を楽しむ人々たちによる多種多様なリアルな生活空間が広がっています。

オープン台地は、そんな上町台地のあちこちを開くまちびらきプログラムが47集結し、標高25mほどの小さな台地にぎゅっと詰まった歴史の重なりを感じることができるイベントです。

各プログラムの報告は、P05～P30をご覧ください。

<http://uemachi-hope.net/open-daichi/>

## オープン台地 の 楽しみ方

上町台地でのリアルな  
暮らしに触れてみよう!!  
普段は非公開のスポットの  
限定オープンなどもあります。



上町台地を  
「知る・学ぶ」

講演会や展示などで  
上町台地の歴史や活動  
について知り学べます。



上町台地に  
「ふれる・発見する」

まちあるきや特別公開  
スポットで上町台地の  
魅力を発見できます。



上町台地で  
「つながる・楽しむ」

ワークショップやフェスタ  
などを通じ、上町台地の  
素敵な人に出会えます。

01  
02

## 上町台地の まちびらき 47 プログラムコレクション

上町台地には様々な歴史の顔があります。難波宮が置かれた古代の上町台地、日本の歴史の転換点となった「大坂の陣」の舞台としての上町台地、大阪独自の文化を育んだ近世の上町台地、そして明治以降の現代につながる暮らしの場としての上町台地。今、様々な人の「私が暮らす台地」の歴史が折り重なりながら、新しい上町台地の歴史をつくっています。様々な時代に思いをはせながら、新たな上町台地の魅力を発見できるよう、今回のオープン台地では47のプログラムを関連する時代で区分しました。



## オープン台地 in OSAKA Vol.5 開催概要

◆ 会期および開催エリア

2014.11.28(金) - 12.7(日)

上町台地マイルドHOPEゾーン協議会活動エリア

(協議会活動エリアは協議会ホームページをご覧ください)

◆ 実施プログラム数 | 参加者総数

47プログラム実施 | 計9,248名参加

◆ 実施体制

企画・実施: オープン台地vol.5実行委員会

釜中 悠至 / 松本 邦彦 / 島 瑞穂 / 中川 ショータ / 竹岡 寛文  
NPO OSAKAゆめネット / 應典院寺町倶楽部 / コジョーマダイサク /  
住みよいまち&絆研究所 / コワーキングスペース往来 / からほり軒先  
フリーマーケット実行委員会 / 複合文化施設「萌」 / サトウアヤコ /  
自転車文化タウンづくりの会 / (株)ダン計画研究所 / 長屋すとっくばんく  
ねっとわーく企業組合 / 六波羅真建築研究室 / からほり倶楽部 /  
Chinon selectshop&café&Gareilly / 大阪市立住まい情報センター  
/ 大阪大学 都市環境デザイン学領域

◆ オープン台地vol.5 協賛団体

大阪夕陽丘ライオンズクラブ / 和宗総本山 四天王寺 /  
一心寺 / 上本町YUFURA / 應典院 / 高津宮 / 大蓮寺 / 玉  
造稲荷神社 / バドマ幼稚園 / 生國魂神社 / 一茶庵宗家 / エリー  
ニ・ユネスコ協会 / (学)追手門学院 / 長屋すとっくばんくねっとわーく  
企業組合 / 空堀複合文化施設一萌 Ho- 御屋敷再生複合ショップ一線  
Len- 長屋再生複合ショップ一憩 So- / (公財)山本能楽堂



オープン台地vol.5は「大坂の陣400年天下一祭」  
参加事業です。 <http://www.osakanojin400.com/>

# オープン台地 開催カレンダー

週末はしご早見表

	まちびらきプログラム							週末はしご早見表			
	11/28 fri	11/29 sat	11/30 sun	12/1 mon	12/2 tue	12/3 wed	12/4 thu	11/29 sat	11/30 sun	12/6 sat	12/7 sun
5	01						01	01			
6	02		02						●		
6	03				03						
7	04	04							●		
7	05									●	●
8	06	06	06								
9	07										
9	08		08						●	●	
10	09	09	09						●		
			09							●	
10	10		10								
11	11	11							●		
11	12	12				12			●	●	●
12	13		13								
13	14	14							●	●	
13	15			15							
14	16					16					
14	17						17				●
15	18		18						●		
15	19		19						●		
16	20	20	20						●		
			20						●		
17	21		21						●		
17	22	22									
18	23		23						●		
			23			23			●	●	●
18	24	24			24						
19	25						25				●
19	26						26			●	
20	27						27			●	●
20	28						28				●
21	29		29						●		
21	30				30				○	○	○
22	31	31							○	○	○
23	32						32			●	●
23	33				33						
24	34		34						●	●	
24	35				35				●	●	●
25	36	36							●	●	●
25	37						37			●	●
26	38						38				●
26	39						39			●	
27	40						40			●	
27	41						41				●
28	42						42			●	
28	43						43			●	
29	44						44				●
29	45						45				●
30	46				46				○	○	○
30	47				47				○	○	○



# 古代より続く上町台地の歴史

## 独特の地形とそこに暮らす人々の築いてきた歴史を再発見するプログラム

上町台地の北東に位置する森の宮遺跡では「貝塚」が発見され、縄文時代中期からこの地で生活が営まれていたことが明らかになっています。大和国(今の奈良県)に王権がつくられてからは海外との外交の要所として栄え、当時最先端の技術を集めて四天王寺もつくられました。その後、一時は国の中心となる難波宮が造営されます。こうした日本の国の礎がつくられてきた時代をルーツにもつ資源が上町台地には点在しています。

### プログラム詳細 記号凡例

- 1 開催日時(全て2014年)
- 2 受付開始(集合時間)
- 3 開催場所(全て大阪市内)
- 4 集合場所
- 5 定員
- 6 申込要否
- 7 申込方法
- 8 メール 9 FAX 10 電話 11 ハガキ
- 12 独自フォーム
- 13 住まいまちづくりネット
- これらに続き、宛先や記載事項などを記載
- 14 参加費
- 15 イベント内容
- 16 [企]企画、[主]主催、[共]共催、[協]協力
- 主催の表記がないものは「上町台地マイルドHOPEゾーン協議会」の主催です。

**1** 上町台地を「知る・学ぶ」  
講演会や展示などで上町台地の歴史や活動について知り学べます。

**2** 上町台地に「ふれる・発見する」  
まちあるきや特別公開スポットで上町台地の魅力を発見できます。

**3** 上町台地で「つながる・楽しむ」  
ワークショップやフェスタなどを通じ、上町台地の素敵な人に出会えます。

## 01 上町台地(難波宮)へ逃げよう! ～歴史と防災を考えるまち歩き～

コース①地下鉄「堺筋本町駅」～難波宮～大阪歴史博物館  
コース②JR「森ノ宮駅」～難波宮～大阪歴史博物館

12/4(木) 13:00-16:00 12:30

3 難波宮周辺、大阪歴史博物館(中央区大手前4-1-32)

2 ①地下鉄「堺筋本町駅」中北改札口 ②JR「森ノ宮駅」北改札口 各20人 6 要申込

7 8 osaka\_yumeneto@ybb.ne.jp 氏名・連絡先・人数・希望コースを明記の上お送りください。14 参加無料 15 上町台地の海拔は最も高い大阪城天守閣跡で38m、大手町や難波宮付近で約24m。災害時、どの道を歩いて台地に向かうか、史跡等も巡りながら自分の体で確かめます。その後、大阪歴史博物館で簡単な防災マップをつくります。\*コース中、坂(階段)があります。16 [企]NPO(市民団体)OSAKAゆめネット



### 企画者からのコメント

雨のため当日5名の欠席があり残念でしたが「まちあるき」から防災マップ作成まで熱心に取り組んで頂きました。前大阪文化財研究所 所長、長山雅一氏による講義は解り易く知識が深まりました。アンケートでは「細かいところまで説明がありよく理解できた」、防災マップ作成では「上町台地が最も安心だと確信した」と回答をいただきました。事業全体の感想では「とてもよかった」が14名、「まあまあよかった」が1名と好評で、今後も継続して行っていきたいと考えています。

反省点は、独自のチラシを作りましたが、参加者が少なく今後も広報に力を入れていきたいと思っています。



05  
06

## 02 ブッダのめがね ～かけて・話して・考える～

11/30(日) 10:00-13:00 9:45

3 浄土宗應典院(天王寺区下寺町1-1-27) 15人

6 要申込 7 http://bit.ly/buddamegane 14 参加無料

15 下寺町のお寺を開き、皆でブッダの考え方に触れながら、その場で感じたことを話し合います。仏教を信じているかないかは関係ありません。私たちが日々暮らしの中で感じているモヤモヤを、ブッダという先人の知恵を借りながら見つめ直してみます。

16 [企]應典院寺町倶楽部



### 企画者からのコメント

「ブッダのめがね～かけて・話して・考える～」を開催致しました。前半は「言葉の美術館」と題し、会場内を歩きながら、展示されたブッダのことばに触れる時間を設けました。観覧した後、全員で感想を共有した際、「本で読んだ時と全く印象が違う」という声が多くあがりました。後半は「ダンマパダ読書会」を開催。前半の時間を経て、新鮮な気持ちでことばと向き合いながら、文章を読み、対話が進められました。終了後、参加者から「今まで自分の中で抱えていたものが、少しだけ楽になりました」とお話しもあり、暮らしの中で感じるモヤモヤを見つめ直す企画となりました。

今回オープン台地をきっかけに初めて應典院に来られた方も多く、新しい繋がりができ、またブッダのめがねという新しいコミュニティができました。今後の課題としては、上町台地のコミュニティにて、今回生まれた繋がりをどう継続させていけるかということだと思います。今後、同企画を継続させていこうと思っておりますので、より地域に開いた集いの場になるよう工夫していきたいと考えています。



## 03 上町台地の古刹探訪 ～市内文化財の特別拝観～

\*連続3回。全日程に参加いただける方を募集します。

1 12/1(月) 2 12/2(火) 3 12/3(水)

各10:00-11:00 各9:45 3 勝鬘院(天王寺区

夕陽丘町5-36) 3 宝泉寺(中央区龍造寺町6-15) ①施行院(天王寺区恵田院町4-36)

15 30人 6 要申込・抽選(11/12締切/当選者には個別に通知) 7 530-8201 大阪市北区中之島1-3-20(往復ハガキに、講座名と郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記の上お送りください。ハガキ1通で2名分まで申込可) 14 参加無料 15 上町台地に残る古刹の中で、特に古い歴史をもつ四天王寺の境外支院3ヶ寺の非公開文化財を、学芸員の解説付きで特別拝観します。16 [主]大阪市教育委員会文化財保護担当



### 企画者からのコメント

▶通常非公開の文化財を学芸員の解説付きで見学したことが大変好評であった。

▶各回1時間で、密度の濃い内容だったという評価の一方、もう少しゆっくりと見たいという意見もあった。

▶今後も同様な企画を続けてほしいという感想も聞かれた。





## 04 お寺のまちdeキャンドルナイト

11/28(金)、11/29(土) 各18:00-21:00

源聖寺坂、口縄坂、愛染坂、大江神社、清水坂、天神坂、ならびに下寺町各寺院 申込不要 参加無料

お寺のまち・下寺町と上町台地の地形と調和した風情ある天王寺七坂に約1,400個のキャンドルが並びます。ろうそくのほのかな灯りが創り出す幻想の世界をお楽しみください。

[主]天王寺区役所 [共]大江ふれあい協議会 [協]下寺町等周辺寺院、てんのうじ観光ボランティアガイド協議会、てんのうじ知りたい倶楽部、大阪市交通局



### 企画者からのコメント

3回目の開催となった今回は、前回までのLEDライトではなく、本物のろうそくを使用して開催しました。関連イベントとして、「スタンプラリー&ミニガイド」「てらまち読経ライブ」「弦楽アンサンブル演奏」「お寺のまちde七坂トーク」を開催し、地域の方のご協力により、休憩所を会場内に3箇所設け、しょうが湯やコーヒー、ぜんざいのおもてなしをしていただきました。昨年よりも来場者が約3,300名も増え、以下の来場者アンケートにもありますが、幻想的なキャンドルのあかりを楽しんでいただけたようです。

### 【来場者アンケートより】

- ▶ 昨年と違い本物のろうそくだったのでステキでした。
- ▶ 幻想的で昼と全く違った雰囲気だった。
- ▶ 普段見られないお寺の中を見ることができたのでよかった。
- ▶ 地元の方がボランティアとしてがんばっておられた。
- ▶ 七坂の特徴をいかしたすばらしいイベント。できる限り続けられることをお祈りします。



## 05 なにわ伝統野菜“天王寺蕪”収穫祭2014

※なにわ伝統野菜関連商品の販売もおこないます。

12/6(土) 11:00-14:00

第1会場: JR天王寺駅・公園口、第2会場: アペノ地下街(あべちか)吹抜ドーム 申込不要

参加無料 なにわ伝統野菜関連商品(野菜・漬物・餡など)の販売の他、アカペラ・ライブや天王寺蕪のお話し会、動物&植物なぞなぞ大会など様々なイベントで会場を盛り上げます。

[主]天王寺区役所、天王寺動物公園事務所 [協]阿倍野区役所、Welcomingアペノ・天王寺キャンペーン事務局、天王寺蕪の会、大阪商工会議所南支部、大阪地下街株式会社



### 企画者からのコメント

今年の“天王寺蕪”収穫祭は会場を天王寺公園から変更し、JR天王寺駅とアペノ地下街(あべちか)で開催しました。

なにわ伝統野菜関連商品の販売コーナーでは、野菜・漬物・餡などを買い求めるお客さんと賑わいを見せたほか、ステージエリアでは、プロアカペラアーティストの「Yellow Mellow」や殺陣集団「浪花SANADA十勇士」が登場し、会場を盛り上げてくれました。

また、天王寺蕪の会・事務局長の難波りんごさんによる「天王寺蕪のお話」では、お話を聞くだけでなく実際に天王寺蕪の細巻き寿司をご賞味いただき、そのあとの天王寺動物公園事務所職員による「動物&植物なぞなぞ大会」では、正解者に動物園で収穫された天王寺蕪と田辺大根をプレゼント。寒さ厳しい中での開催で少しお客さんは少なかったですが、天王寺蕪の魅力をPRでき、おみやげを持って喜んで帰っていただくことができました。



07

08

豊臣秀吉は1583年に上町台地北端に大坂城を建設し、それにとまって城下町が整備されました。その後、1614年大坂冬の陣、1615年の夏の陣で大坂城は落城し豊臣氏は滅亡しましたが、その後荒廃した大坂の復興が進められ、大坂城の再建や現在も残る寺町はこの頃形成されました。大きな時代の転換点となった「大坂の陣」の舞台となった上町台地には、大坂城はもちろん、悲劇の名将として知られる真田幸村などにちなんだ名所が点在しています。

## 歴史の大きな転換点「大坂の陣」

400年にちなんだプログラムも多数!!

### 「大坂の陣」400年記念 プレオープニング特別企画

中井大和守像▶  
重要文化財  
中井正知氏・正純氏蔵



### 06 【講演会】もうひとつの大坂冬の陣 —大工棟梁 中井大和守がみた大坂の陣—

11/24(月・振休) 13:00-14:30 回12:30

追手門学院 大阪城スクエア 6F大手前ホール(中央区大手前1-3-20)

定100人 要申込(空きがあれば当日受付可) 住まいまちづくりネット

参加無料 中井大和守正清は、徳川家康の側近で、大工棟梁として江戸城や二条城を造った大工棟梁です。武将ではなく、大工棟梁の目から見た「大坂の陣」とは? 今回の講演では、会場の窓から大阪城天守閣を眺めながら、中井家に伝わる重要文化財の絵図や書状群を資料として、大坂の陣の発端になった方広寺鐘銘事件から大坂城落城までを、ドキュメント風に再現します。※大阪くらしの今昔館で開催される展覧会「大工棟梁 中井大和守がみた大坂の陣—方広寺鐘銘事件から大坂落城まで—」と連携して行われます。

[企]上町台地マイルドHOPEゾーン協議会 [共]追手門学院大学地域文化創造機構、大阪くらしの今昔館



豊臣時代大坂城絵図  
重要文化財/中井正知氏・正純氏蔵

### 企画者からのコメント

オープン台地vol.5の開催に先駆けて、プレ企画として講演会を開催しました。赤や黄色に色づく木々や大阪城天守閣が眺められる会場で、大坂の陣から400年の節目に、大工棟梁・中井大和守の目を見たもうひとつの大坂の陣を、関連年表や中井家に伝わる重要文化財の絵図や書状群を資料として再現しました。



参加者からは、「大工が合戦の裏で活躍していた様子が分かった。」「古文書から読み取れる歴史は実に楽しい、面白かった。」などのご意見とともに、会場の照明や映像の操作の不手際で、講師や参加者に迷惑をかけてしまいました。今後は十分なりハーサルを行うよう気を付けたいです。





**07 真田ゆかりの地・伝承地をめぐる  
まち歩きツアー**

※大阪検定連携事業「大阪あるこ」との連携事業です。

📅11/26(土) 13:00-15:00 📅12/4(日) 12:45  
📍鶴橋～玉造周辺 📍地下鉄「鶴橋駅」1号出口  
👥20人 📄要申込 📄住まいまちづくりネット  
📄1,000円(資料代、保険代等)

📖なにわなんでも大阪検定1級合格者が案内する、真田ゆかりの地・伝承地をめぐるまち歩きツアー。真田の抜け穴跡との伝承が残る井戸がある「湯涌稲荷神社」や、冬の陣の際に幸村が戦勝を祈念したといわれる「鎌八幡」などを巡ります。

📄[主]大阪商工会議所



**企画者からのコメント**

今回のまち歩きのテーマ「真田幸村」では、地域の歴史に大変造詣の深いガイドが案内したことに加え、地域内に「抜け穴跡」など真田ゆかりで、かつ実際に見られるものが残っている場所が多かった為、参加者の満足度は非常に高かった。

また、ツアーの最後に玉造日出通中商店街の店舗を訪問し、店主の方から古地図などを見せていただきながら、地域の歴史や、商店街振興の取り組み状況についてお話を伺うことができ、参加者の同地域に対する理解を一層深めることができました。



**09 大阪あそ歩2014秋 特集「大坂冬の陣400年」**

- ①幸村・真田丸から終焉の地まで「まち遊び」
- ②勝山「まち歩き」
- ③たっぷり講談と戦記解説「まち遊び」

📅11/29(土) 13:00-15:30 📅11/30(日) 13:00-15:30 📅12/1(月) 18:30-21:00 📍下記  
HPに掲載 📄①②各15人③100人 📄要申込 📄📄https://www.osaka-asobo.jp/  
☎050-5809-7002(留守番電話) 📄1,500円(ガイド費用等) 📄「大阪あそ歩」2014秋(9/20～12/1)の116本のプログラム中、「冬の陣」をテーマにした「まち歩き」「まち遊び」が11本あります。注目の真田幸村の「真田丸」の攻防など、上町台地を舞台に繰り広げる「大阪あそ歩」の「冬の陣」をお楽しみください。※詳細はHPで確認できます。https://www.osaka-asobo.jp/ 📄[主](-社)大阪あそ歩委員会



**企画者からのコメント**

大阪あそ歩は、1500年の歴史に彩られた町人のまち大阪を、総勢200名を超える市民ガイドがご案内しています。

「2014秋」は116本のプログラム中、「大坂冬の陣」をテーマに11本の「まち歩き」と「まち遊び」を実施しました。そのうち上町台地を舞台にした3本をオープン台地と連携しました。

12月1日の最終日には、秀吉が造成したとされる寺町にあり、秀吉から3通の朱印状をもらったというゆかりの妙光寺で、講談師・旭堂南麟さんの「難波戦記」とあわせて「なぜ家康にしてやられたか」関ヶ原の戦からの解説を行い、400年前の「大坂冬の陣」を体感しました。



**08 上町台地で  
真田幸村ゆかりの地を巡る  
タンデム自転車ツアー**

📅11/30(日) ①午前の部 9:30-12:30  
②午後の部 13:30-16:30

📍大阪城大手前芝生広場(中央区大阪城1-1) 📄各8人  
📄要申込 📄住まいまちづくりネット 📄参加無料

📖戦国武将になった気分で、上町台地に残る真田幸村ゆかりの地(大阪城→三光神社→安居神社など)を、タンデム(2人乗り)自転車で巡りませんか!しんどさ半分・楽しさ2倍のミニ・サイクリング。この機会にぜひ体験してみてください。

📄[企]自転車文化タウンづくりの会 [協]大阪でタンデム自転車を楽しむ会



**企画者からのコメント**

戦国武将になった気分で、大阪城や三光神社、安居神社など、上町台地に残る真田幸村ゆかりの地を2人乗りのタンデム自転車で巡りました。

ツアーに行く前には、タンデム自転車の練習として、パイロンの間をスラローム走行した後、「世界初!?タンデム自転車流鏑馬」に挑戦しました。これは、後ろの席の人が、並んだパイロンをめがけて、タイヤの輪投げをするというものです。バランスを崩さないよう、前の席の人と息を合わせて、投げるのが、難しい分、楽しいと、好評でした。参加者からは、次のような感想を頂きました。

**【来場者アンケートより】**

- ▶説明がよかった。歴史に触れられた。神社など楽しかった。
  - ▶タンデム自転車流鏑馬のアイデアがよかった。流鏑馬だけでもプログラムが作れそう。
  - ▶初めてのタンデムはとても楽しくて、また、ぜひ乗りたいと思います。
- 秋の紅葉を楽しみながら、上町台地とタンデム自転車の魅力を味わうイベントとなりました。



09  
10

**10 ここほれワンだあ!  
上町台地  
地下ワンダーゾーンツアー**

📅11/30(日) 13:30-16:30 📅13:00

📍天王寺区、中央区(※詳細は参加証にてお知らせします) 📄20人  
📄要申込(11/16回締切/当選者には個別に通知) 📄住まいまちづくりネット  
📄参加無料(ツアー中の移動にかかる交通費は各自実費負担)  
📄台地をまるごとオープンしてしまう地下ツアー。普段は見られない上町台地の地下スポットを地下鉄で巡ります。※当日は、動きやすい服装でお越しください。  
📄[企]大阪市立住まい情報センター [協]竹岡寛文



**企画者からのコメント**

“地下ツアー”の第4弾で、上町台地の地下空間をまるごとオープンし、地下鉄を使ってめぐろうというプログラムです。定員20名のところ、57名の申込があり、抽選の結果、21名にご参加いただきました。今回は、大坂の陣400年ということで、まず初めに三光神社で真田幸村の話聞き、兜をかぶって記念撮影をし、真田の抜け穴を見学しました。その後、細川ガラシャゆかりの地である越中井まで歩き、森ノ宮駅から地下鉄に乗り谷町四丁目駅まで移動しました。太閤(背割)下水で大阪のまちづくりと下水道の説明を受けた後、途中、谷町四丁目駅の地下スポットに立ち寄り、大阪城天守閣まで歩きました。大坂城では、豊臣時代の石垣の遺構が地下に埋まっている場所を見学し、大阪城天守閣の北川館長から大阪城の地下スポットについてお話いただきました。「上町台地の地下にはいろんな歴史がねむっていることがわかった」という感想がありました。





11 【講演会】  
 冬の陣、夏の陣を読み解く  
 ～大坂城と真田幸村～



11/29(土) 14:00-16:00 回 13:45  
 大阪市立天王寺図書館 2階集会室(天王寺区上之宮4-47)  
 40人(当日先着順) 申込不要 参加無料  
 大坂城冬の陣・夏の陣での真田幸村の活躍から400年を記念し、大坂の陣と真田幸村のかかわりをめぐるお話を、天王寺歴史散策ボランティアクラブ会長の松村基先生からうかがいます。史実を「おもしろ可笑しく」伝える松村先生の話芸とうんちくをお楽しみください。  
 [主]天王寺歴史散策ボランティアクラブ [協]大阪市立天王寺図書館

企画者からのコメント

地元で深くかかわる真田幸村を中心とした講演会ということで、多くのご参加を得ることが出来た。とりわけ乳幼児連れの若い母親複数の参加があり好評を得るなど、一般的な方の興味に沿う形での講演会を行ったことが成果としてあげられる。

オープン台地の他にも真田博・大坂城400年祭なども連なるテーマであったことが注目を集めた一因でもあるだろう。

一方、会場の収容能力ギリギリの参加人数となったことは、今後の取り組みでの会場設定・広報についての課題と認識している。



12 【ケース&図書展示】  
 冬の陣、夏の陣を読み解く  
 ～大坂城と真田幸村～



11/28(金)-11/30(日)、  
 12/2(火)-12/7(日)  
 大阪市立天王寺図書館開館時間中  
 (会期中 休 10:00~19:00 日 10:00~17:00)  
 大阪市立天王寺図書館 閲覧室(天王寺区上之宮4-47) 申込不要 参加無料  
 大阪市立図書館所蔵資料から、『大坂冬の陣図』『難波戦記』など大坂の陣に関連する資料を天王寺図書館閲覧室にて展示します。※図書館開館時は自由に閲覧いただけます。  
 [主]大阪市立天王寺図書館

企画者からのコメント  
 真田博・大坂城400年祭に因んで図書・ガラスケース展示や講演会と連動する企画とし、オープン台地にも参加することで、通常の図書館単独での展示より多くの方にご覧いただくことができました。

従来の図書館利用者よりも広い市民に来館して頂く良い誘因となり、図書館も本を貸し出すだけの施設でないことを知っていただけたと思われる。今後も地域の図書館として、天王寺区民を中心とした市民の身近な立寄り場所となることを目指したい。



11  
 12

上方文化の原点、江戸時代中後期  
 料亭に煎茶、能や浮世絵、チンドン屋など  
 江戸時代の上方文化を学び、お楽しみあれ

近世の大阪は商人の町としてめざましい経済発展を遂げ、町人層による新しい都市文化が形成されました。能や浄瑠璃などの芸能娯楽や、食文化・料亭文化が発展し、広く人々に普及しました。また、一般市民に物見遊山(観光)の楽しみが浸透し、寺社仏閣巡りや高台からの眺望を楽しむ場所などとして、様々な名所図会(現在の観光ガイドブック)にも上町台地が描かれました。

プログラム詳細 記号凡例

- 1 開催日時(全て2014年)
- 2 受付開始(集合時間)
- 3 開催場所(全て大阪市内)
- 4 集合場所
- 5 ホ 定員
- 6 申込要否
- 7 申込方法
- 8 メール FAX 電話 ハガキ
- 9 独自フォーム
- 10 住まいまちづくりネット  
これらに続き、宛先や記載事項などを記載
- 11 参加費
- 12 イベント内容
- 13 [企]企画、[主]主催、[共]共催、[協]協力  
主催の表記がないものは「上町台地マイルドHOPEゾーン協議会」の主催です。

1 上町台地を「知る・学ぶ」  
講演会や展示などで上町台地の歴史や活動について知り学べます。

2 上町台地に「ふれる・発見する」  
まちあるきや特別公開スポットで上町台地の魅力を発見できます。

3 上町台地で「つながる・楽しむ」  
ワークショップやフェスタなどを通じ、上町台地の素敵な人に出会えます。

13 浮瀬頭彰板設置記念講演会  
 「浮瀬(うかむせ)と蕉蕪園」  
 inオープン台地



11/30(日) 14:00-16:45 回 13:45  
 大阪星光学院 2階会議室(天王寺区伝人町1-6)  
 30人 要申込 住まいまちづくりネット 参加無料 古くから夕陽の景勝地として知られる夕陽丘には、江戸時代、大坂を代表する料亭「浮瀬」がありました。多くの文人が訪れたことでも有名で、現在、跡地は大阪星光学院により「蕉蕪園」として整備されています。今年6月の浮瀬頭彰板設置を記念して、夕陽丘の歴史に関する講演会と浮瀬跡の見学会を開催します。※内履き(スリッパ等)をご持参ください。  
 [企]上町台地マイルドHOPEゾーン協議会[協]大阪夕陽丘ライオンズクラブ、大阪星光学院

企画者からのコメント  
 夕陽丘には、松尾芭蕉も訪れた江戸時代を代表する料亭「浮瀬(うかむせ)」がありました。今年の6月には、その跡地に建つ大阪星光学院の塀に浮瀬頭彰板が設置され、今回はそれを記念した講演会と見学会を開催しました。

当初30名の予定でしたが、問合せも多く急遽席を増やして58名の参加になりました。ご近所の方々の参加が約半数で、なかには浮瀬頭彰板を見て気になっていたのに参加したという方もいて、自分達の住むまちについて関心が高い事が伺えます。

講師の山内先生のお話は、文学資料から浮瀬を読み解かれ、現在の「蕉蕪園」にある文学碑の説明なども整備に関わった学院関係者や地域の方々への敬意を表した内容となりました。参加者からは、当時の浮瀬亭の風景が目に見え、普段は入れない学院内の「蕉蕪園」見学を喜ぶ声、自分の住むまちの歴史をもっと学びたい、といった感想が寄せられました。





## 14 煎茶のサロン



11/28(金) ①19:00- 11/29(土)

②10:30-③13:30-④16:00-(各回1時間半程度)

入場料 一茶庵 宗家(中央区大手通1-1-1) 各12人 要申込 住まいまちづくりネット

3,800円(茶菓料等) 幕末から残る一茶庵の煎茶数寄屋建築。そこには、大阪の知識人や芸術家が集いました。そして今も変わらず、多くの方々が「煎茶」を嗜みながら書画の鑑賞や詩作を楽まれています。そんな文化・芸術サロンを一度体験してみませんか? 煎茶の歴史や、書画の鑑賞の仕方を説明いたします。※椅子席ですが、和室ですので靴下をはいてお越しください。 [主]一茶庵 宗家

### 企画者からのコメント

毎年、参加者はとても熱心です。上町台地や江戸時代に興味を持つ持たないにかかわらず、「煎茶文人」になろうとして下さいませ。今回は、文人画を観て、そこから漢詩の世界へと入りました。時間の流れの中で培われてきた文化を直接体験して頂いたと思っております。もちろん、おいしい「雁音」のお茶を味わいながら…書斎(文房)“独楽”は、他の煎茶室とともに、国登録有形文化財に登録されました。今後とも、日本でも珍しい煎茶室、文房の文化を、一茶庵から発信、啓発させていきたいと思っております。上町台地に残る貴重な空間を、絶やさぬ努力に、今後ともご協力をお願いします。

### 【反省点】

4回用意していたサロンを2回としました。人数が集まらないのが…悩みです。内容には自信がありますので…ひとりでも多くの方に参加して頂きたいと思っております。方法を考えて参りますが…よろしくご指導を。



## 15 まっちゃまちサロン



12/1(月) ①お昼の部14:00-15:30

②夜の部19:30-21:00

①お昼の部 13:30 ②夜の部 19:00

入場料 山本能楽堂(中央区徳井町1-3-6) 各20人

要申込 住まいまちづくりネット 1,000円(入場料)

初心者でも楽しく学べる能の体験講座。能面や能装束もご覧いただけます。お昼の部はお抹茶とお菓子、夜の部はおこわ飯とお茶がついています。

[主](公財)山本能楽堂

### 企画者からのコメント

会場の関係で少人数での開催になったが、その分より楽しんで頂く事ができた。参加者からは、同じような講座にまた参加したいとの要望をいただいた。



13

14

## 16 初心者のため上方伝統芸能ナイト～ 「センバ探偵団」解答編



12/5(金) 19:00-21:00 18:15 山本能楽堂

(中央区徳井町1-3-6) 20人 要申込 住まいまちづくりネット

Sエリア席4,500円/Aエリア席4,000円  
Bエリア席3,500円(入場料)

大阪に伝わる上方伝統芸能の中から一晩に4種類の芸能を次々と上演する人気の公演。今回は「センバ探偵団」解答編として、スペシャルバージョンでお届けします! 特別ゲストも登場予定! 乞うご期待!!

[主](公財)山本能楽堂 [共]大阪商工会議所、大阪市 [協]大阪観光局

### 企画者からのコメント

大阪中央区役所主催の「古典芸能×近代建築で 船場を遊ぼう!」との連携企画ということもあり、当日は柏木区長にもご来場いただき、賑やかな公演となった。



## 17 たにまち能



12/7(日) 13:00-16:00 12:00

山本能楽堂(中央区徳井町1-3-6)

20人

要申込 住まいまちづくりネット

一般5,500円/学生3,000円(入場料)

昭和25年から続く歴史的な本格的な能の公演。能「通小町(かよいこまち)」、能「葛城(かつらぎ)」、狂言「栗焼(くりやき)」をお楽しみください!

[主](公財)山本能楽堂

### 企画者からのコメント

年の瀬の開催であったが、大勢のお客様をお迎えすることができた。うえまち台地で今も豊臣秀吉が演じた同じ能を上演できることを嬉しく思った。





## 18 台地を探して 一浪花百景で物見遊山ー



- 📅11/29(土) 10:00-12:00 🕒9:45  
 📍天王寺区 🚇地下鉄「谷町九丁目駅」3番出口  
 👤15人 📄要申込 📱住まいまちづくりネット  
 📖江戸時代、上町台地が作りだす坂の景色、崖下に湧き出る清水、町を見下ろす高台などが観光名所となっていました。高い建物が増えて目立たなくなった標高20m弱の台地の端で、当時のガイドブック「浪花百景」を片手に、坂道・崖・展望地点などの「台地そのもの」を感じて楽しめます。  
 🏢[企]大阪大学 都市環境デザイン学領域

**【成果】**  
 企画者からのコメント  
 台地そのもの(坂道や崖など)に着目することで、天王寺七坂一帯の地域特性(都市形成史(江戸時代から近代以降現代に至るまで)、景観ほか)を、いわゆる歴史ガイドとは違う視点から参加者に提供することができた。

**【感想】**  
 少々マニアックな切り口であり、参加者に意図を理解してもらえないか不安であったが、アンケート等を見ると、こちらの意図が伝わっていたようであった。



**【反省】**  
 いわゆるまちあるきツアー、歴史ガイドとは異なる趣向のため、一般的なツアーでは取り上げられるような有名な資源を敢えて積極的にガイドしないということを行ったが、冒頭にもう少し丁寧にそのことを提示しておくべきだった。



## 20 いるかアートフレンズ 今を生きる芸術



- 📅11/29(土) ①アートパフォーマンス13:00-15:00  
 ②アート展示11:00-16:00 🕒①12:30  
 📍三軒家(ことはたの庭) (中央区谷町6-17-13) 👤①25人 ②定員なし 📄①当日先着順(事前予約可) ②申込不要 📞①☎06-6685-1335(事前予約) 📄参加無料  
 📖空堀に残る江戸末期に建築された蔵を舞台に、寝たきりで、話せない、重いハンディを持つ方たちによる、アートパフォーマンスや日々の作品の展示を行います。ひたむきに笑顔で芸術に取り組む姿を見ると「現在を生きる、大切さを感じさせてくれます。※会場はバリアフリーです。トイレあり。🏢[主]アーセナールいるか

**企画者からのコメント**  
 一番の反省は、広報活動が出来ていなかった。絵の展示やアートパフォーマンスはとてもよかったのに、見に来て頂ける方が少なかった。広報活動は当日だけでなく、事前に近くの店などにパンフレットを置いたり、声をかけておかないではならないのだと思った。後、オープン台地内で、連携し紹介し合えば、もう少しお客さんも来たと思う。



## 19 大阪が生んだ広告の原点 「東西屋」の歴史探訪 【丹波屋九里丸編】



- 📅11/29(土) 14:00-16:00 🕒13:30  
 📍(有)東西屋事務所(中央区上本町西2-6-21) 👤15人  
 📄要申込 📱住まいまちづくりネット 📄500円(資料代)  
 📖いわゆる「チンドン屋」の原点は、幕末の大阪で生まれた「東西屋」が発祥とされます。商いのまち・大阪ならではの「東西屋」を文献、資料を参照しながら、中興の祖である丹波屋九里丸(たんばやくりまる)の功績を紹介し、彼が活動の拠点とした、旧南区西賑町を散策します。🏢[主](有)東西屋・ちんどん通信社

**企画者からのコメント**  
 前年は「2代目勇亀」「丹波屋九里丸」という両巨頭に関する講義と「勇亀」の墓石が存在する、真田山・興徳寺を散策するというカリキュラム。

本年は、丹波屋九里丸に特化した講義と、九里丸が活動の拠点とした、旧南区賑町を散策し、ふたたび会場に戻り、貴重な昭和30年代の「全国富山ちんどんコンクールの映像」を鑑賞。

天性のアイデアマン九里丸が行った、あの手この手の「宣伝手法」に、参加者は一様に興味を示していました。昭和に入って、その後継者ともいふべき、コンクール出場者のアイデア溢れる出しものの映像にも興味深げでした。

昨年は平日開催だったので、集客を計るため土曜日開催とするも、効果上がりず。



15  
16

## なつかしの明治・大正・昭和 大阪都心生活の原風景をつくったこの時代 レトロな上町台地を再発見してみたいか？

明治以降、大都市大阪へ集まってきた人たちのため、長屋に代表される都市型住宅が数多く建設されました。長屋の並ぶ路地は共同生活の場でもあり、そこに暮らす人々の交流の中で様々なドラマが生まれてきました。空堀など戦火を逃れた一部地域では、そんな路地や商店街などの「暮らしの舞台」が、明治・大正・昭和から引き継がれ今なお人々ににぎわっています。

### プログラム詳細 記号凡例

- 📅開催日時(全て2014年)
- 🕒受付開始(集合時間)
- 📍開催場所(全て大阪市内)
- 📄集合場所
- 👤定員
- 📄申込要否
- 📱申込方法
- ✉️メール 📠FAX ☎️電話 📱ハガキ
- 📱独自フォーム
- 📱住まいまちづくりネット
- 📖これらに続き、宛先や記載事項などを記載
- 📄参加費
- 📖イベント内容
- 🏢[企]企画、[主]主催、[共]共催、[協]協力
- 主催の表記がないものは「上町台地マイルドHOPEゾーン協議会」の主催です。

📖 上町台地を「知る・学ぶ」  
 講演会や展示などで上町台地の歴史や活動について知り学べます。

🔍 上町台地に「ふれる・発見する」  
 まちあるきや特別公開スポットで上町台地の魅力を発見できます。

🎵 上町台地で「つながる・楽しむ」  
 ワークショップやフェスタなどを通じ、上町台地の素敵な人に出会えます。



## 21 空堀魅力体験JOURNEY Vol.4 ～長屋暮らしめぐり～

11/29(土) 13:30-15:30 13:00

御屋敷再生複合施設「練」正門前(中央区谷町6-17-43)

10人 要申込 yoyaku@karahoriclub.com 氏名・電話番号・参加人数・住所(番地以下不要)を明記の上お送りください。

2,000円(資料、保険代、ワンドリンク付) 空堀の長屋は、住まうだけでなく、事務所やお店にするなどさまざまなパターンで活用されています。まちなみを散策しながら、長屋で住まい、働いている人々を訪ねるまち歩きです。[主]からほり倶楽部 [協]長屋すつくばんくねっとわく企業組合・六波羅真建築研究室



各所での告知により、定員を超えた規模でのまちあるきとなった。

2グループに別れ、空き家状態の長屋2軒、居住、店舗の長屋3、4軒を巡った。グループによって長屋滞在時間が異なり、先行グループが最後の地点にかなり早く着いてしまい、後ろのグループを30分近く待たせてしまった。取材などが入り、少しバタバタしてしまっただが、最後はこの都合で流れ解散というカタチを取ったため、最後の長屋ではゆっくりできた人が多かったように感じる。参加者からは空き家と活用長屋両方見れた事が良かったという意見があった。



## 23 上町台地タイムトリップ

- ①暮らしの思い出古写真サロン
- ②古写真展示&フリーガイドツアー

11/29(土) 14:00-16:00

②-①日程 11/29(土)、11/30(日)

②-②日程 12/4(木)、12/5(金)、12/6(土) いずれの日程も10:00-17:00

①、②-①高津宮社務所(中央区高津1-1-29) ②-② 峯風庵(中央区南新町2-2-11都住創中大江)

10人 ②定員なし ①のみ要申込 住まいまちづくりネット 参加無料

上町台地のまちなみや自然、生活風景に関する古写真を展示するとともに、古写真に写った場所を探し訪ねるフリーガイドツアーを行います。上町台地の古写真をお持ちでしたら是非ご持参ください。[企]住みよいまち&絆研究所



高津宮と峯風庵の2箇所、5日間無事開催することが出来ました。

初日は高津宮様のご協力を得て、地元の方々(氏子等)と一般参加者などで暮らしの思い出古写真サロンを実施することが出来、高津宮周辺のまちなみの記憶が集まりました。峯風庵では円周寺様(南新町)のご協力を得て、約50年前の古写真を集めることが出来ました。どちらも生活地域に的を絞ったことで、さらに活動が深化してきたように思われます。

- お越しいただいた方々の目的は概ね、
- ▶古くからお住まいで、なつかしさを求めて
- ▶引っ越したばかりで地域のことを調べに
- ▶生家を離れ、自身のルーツを尋ねに



## 22 長屋をリノベーションしてopenした 「複合施設」の内覧会

11/28(金) 18:30-19:30

Chinon(中央区谷町6-11-9) 20人 要申込

06-6777-7454(12:00-19:00) 参加無料 空堀で古い戦前長屋をリノベーションし、カフェ&ギャラリーを併設したセレクトショップを今年5月にopenしました。これからお店をはじめたい方や空堀に住みたい方向けの内覧会で、ビフォー・アフターの写真とともにリノベーション工事にかかる費用、工夫した所、大変だったことなど、体験談をお話します。※古い建物なので、お隣に響きます。階段を上る際はご注意ください。[企]Chinon select shop & Café & Garely

空堀で古い戦前長屋をリノベーションし、カフェ&ギャラリーを併設したセレクトショップを今年5月にopenしました。これからお店をはじめたい方や空堀に住みたい方向けの内覧会で、ビフォー・アフターの写真とともにリノベーション工事にかかる費用、工夫した所、大変だったことなど、体験談をお話します。※古い建物なので、お隣に響きます。階段を上る際はご注意ください。[企]Chinon select shop & Café & Garely



初めての試みだったので不安でしたが、参加者の方もいろいろと質問を下さって、和やかな雰囲気ですすめられました。



17

18

## 24 四天王寺・夕陽丘パネル展

一夕陽に映える、  
歴史のいきづくまちなみー

11/28(金) - 12/5(金)

天王寺区役所開庁時間中  
(会期中 月- 9:00~17:30、 9:00~19:00)

天王寺区役所1階ロビー(天王寺区真法院町20-33) 申込不要 参加無料

四天王寺参道や風情ある寺町の七坂など、上町台地には魅力あるまちなみが多くあります。そんなまちなみの今と昔を見比べる写真を展示します。まちの風景を楽しんでみませんか。上町台地マイルドHOPEゾーン事業の紹介もしています。

[企]上町台地マイルドHOPEゾーン協議会 [協]天王寺区役所・大阪市都市整備局



家隆塚や四天王寺の参道などの、上町台地の魅力的な歴史スポットの、今と昔を写真で見比べるパネル展を開催しました。時代と共に変化する周囲のまちなみと、それでも変わらない寺社の門・塀などを見比べる事が出来ました。また、それらのまちなみを活かした取組みである「まちなみ修景補助事業」の事業PRと事例紹介も行いました。

会場の都合で、途中から5階での展示となりましたが、天王寺七坂の今昔写真を「お寺のまちdeキャンドルナイト」のイベント会場で掲示するなど、他のプログラムとの連携を図ることができました。





## 25 上町台地に大阪が生んだ 謎の文豪の足跡をたどる

※大阪検定連携事業「大阪あること」の連携事業です。

12/7(日) 10:00-12:00 9:45

地下鉄「谷町六丁目駅」周辺

業業年金会館前(地下鉄「谷町六丁目駅」C階段4号出口)

20人 要申込 住まいまちづくりネット

1,000円(資料代、記念館入館料等)

なにわなんでも大阪検定1級合格者が案内する、ちょっとだけマニアックな上町台地まち歩きです。謎の文豪の生誕の地・学んだ尋常小学校と高等小学校跡地・記念館・文学碑などゆかりの地を巡ります。【主】大阪商工会議所



### 企画者からのコメント

直木三十五は上町台地で生まれた、文学賞に名を残す作家でありながら、その実像はあまりにも知られておらず、作品も読まれていない。今回は大阪検定1級合格者で、文学史にも、また上町台地地域の歴史にも詳しいガイドが案内をすることで、参加者は直木と上町台地地域の両方を学ぶことができた。

生家「跡」、勤めていた会社「跡」など、直木三十五ゆかりの地には、碑が建てられておらず、「跡」ばかりであったのが残念だが、ガイドの説明と資料で、直木三十五の作品や人生、人柄、また直木がこの地に生まれ、暮らしていたということを実感することができた。アンケートでも「直木三十五について全く知らなかった。けれど郷土に直木賞ゆかりの偉大な作家がいるとわかり、嬉しく思った」との感想が見られ、満足度も高かった。



## 27 からほりごはん ～みんなで鍋を囲もう～

12/6(土) 11:30-14:00 11:00

御屋敷再生複合施設「練」正門前(中央区谷町6-17-43)

10人 要申込 住まいまちづくりネット

1,500円(資料、会場代)+買物代各自実費負担

空堀商店街は、ふる〜くからあるお店、あたらしいお店が混ざった歴史ある商店街です。商店街好き若者による商店街散策を楽しみながら、各自で鍋ものの食材を買物してもらいます!ゴール地点でランチ鍋をします!

【主】からほりごはん実行委員会【協】空堀の各商店街



### 企画者からのコメント

からほりごはんは、「空堀界隈の美味しいものを知ってもらおう」ことだけでなく「商店街で買い物をする楽しさを実体験してもらおう」ことを目的に開催している。はじめに、商店街を散策しながら、今回のテーマである「鍋」の食材について考えてもらった後、解散して各自食材探しをしてみた。商店主と会話するきっかけツールとして「空堀商店街エコバッグ」を参加者に配布し、歩いてもらった。定番の肉や魚介、野菜類の他に「乾物」「ソースなしたこ焼き」など普段お鍋では買わないような食材も集まり、おいしいけれど再現不可能な鍋が完成した。最後に時間が押してしまい、連続するプログラムへの参加が遅れてしまった参加者がおり、時間配分については今後検討していかなければならないと思っている。



## 26 上町台地の銭湯で メディカルヘルス談義

12/6(土) 15:30-18:00 15:15

玉造温泉周辺(※詳細は参加証にてお知らせします)

10人 要申込(11/19締切/当選者には個別に通知) 住まいまちづくりネット

参加無料(銭湯の入浴代、交流会費は各自実費負担) 上町台地の商店街にて医療健康に絡む商店や商品の探索をしながらガイドツアーを実施します。ツアー後は銭湯文化サポーターズ代表ラッキー植松氏の先導で銭湯体験をし、その後、医療健康の専門家を交え参加者全員で銭湯と健康について談義します。イベント後、交流会も行います。【企】(株)ダン計画研究所【共】銭湯文化サポーターズ代表ラッキー植松氏



### 企画者からのコメント

事前に玉造温泉と玉造商店街を下見し、コースや案内ポイントを検討していたが、平成26年11月24日、銭湯体験を行う予定だった玉造温泉が廃業となった。そのため、急遽会場を空堀商店街というは湯に変更して実施した。ツアーでは空堀商店街にて空堀地区HOPEゾーン事業で行った取り組みの建物等を紹介するとともに小玉湯跡地を見学した。ツアー資料として、中央区、浪速区・天王寺区の銭湯マップ(廃業情報入り)と営業当時の小玉湯の写真を配布し、参加者に喜ばれた。健康談義では、銭湯の健康効果、銭湯の正しい入り方等についてディスカッションするとともに銭湯を存続させるための方策についても談義した。イベント実施日から残り2週間を切った段階で会場変更することになり、十分な準備・広報ができなかったことが反省点である。



19  
20

## 28 東欧から中央アジアへの旅を綴る 建築とコミュニティ

～第7回 長屋すつとくばんく連続講座～

12/7(日) 15:00-17:00

カスバリ長屋(中央区谷町6-13-25)

20人 要申込 karahori-nagaya@yahoo.co.jp 氏名・電話番号・参加人数・住所を明記の上お送りください。1,000円 東欧からコーカサス、中央アジア

まで建築横断の旅。世界の風土と気候に根ざした建築と住まい暮らしを数多く巡ってこられた建築家の渡邊義孝さんをお呼びします。土地に深く根ざした建築とコミュニティのお話をうかがい、上町台地の歴史と景観、そして建築とコミュニティに重ねてみたいと思います。【企】長屋すつとくばんくねっとわーく企業組合



### 企画者からのコメント

空堀では訪れる人がまちなみの雰囲気を感じとってもらえる最良の通りでありながら、普段はシャッターで閉じられた長屋の一区画をお借りすることが出来たので、当日は賑わう町並みを演出できました。シャッターを開放し、空き家から出てきた古物を販売した蚤の市や大阪の地ビールの販売を併設し、本事業以外のタイアップを行ったので、オープン台地ならではの鑑賞を参加者は味わえたのではないのでしょうか。

東欧から中東、中央アジアまでの広いエリアの歴史ある宗教建築や特徴ある建物を魅力あるスケッチや写真で紹介を頂き、複雑な民族間における建築との関係や建築意匠の歴史の変遷について巧みなおしゃべりで披露いただきました。参加者は歴史あふれる上町台地にある建物や地形の豊かさとその重要性を渡邊氏のトークの後、重ねられたのだらうと思います。

寺社仏閣で漫然と感じること以上に、文化的背景や技術的な裏づけを知ることで、改めて大地の豊かさや奥行きを感じることを学べたと思います。





# 現代の上町台地

活発なまちづくりアクティビティ  
オープン台地も5回目を迎える！

上町台地では、様々な時代にもルーツを持つ歴史や文化、神社仏閣や旧跡、建物やまちなみなど、地域特有の魅力を活かしながら、「暮らす」「働く」「楽しむ」ことを考えるアクティビティが活発に行われています。

上町台地は、大都市大阪にあって、まるで中庭のようにゆっくりとした時間の流れる場所です。ここでの暮らしや、受け継いできた歴史の継承につながる活動に様々な人が参加しています。



## オープン台地5周年記念特別企画

2011年1月の第1回開催以来、今回5回目を数えるオープン台地。生活鑑賞ツアーコレクションと銘打って企画された20のプログラムからはじまったこのイベントも、年々プログラム数が増え、今年は47プログラムを実施。上町台地の年中行事として認知されはじめています。

### 29 上町台地まちづくりレイヤートーク 近藤隆二郎×アサダワタル クロストーク

11/30(日) 19:00-21:00 18:30

会場 伽奈泥庵(中央区中寺町2-1-64 美好マンションB1-1F)

定員 40人 申込 要 参加費 1,000円(別途ドリンク500円)

今回のオープン台地はそれぞれの企画を関連する

時代で区分しましたが、平成に入ってから多くのレイヤー(層)が積み重なっています。25年前、上町台地を舞台に企画された「九輪の台地」。当時、大阪大学大学院の演習課題でこのイベントに取り組んでいた近藤隆二郎氏と、オープン台地の初代総合プロデューサーアサダワタル氏のクロストークイベント。先鋭的なイベントを企画してきた2人と今年のオープン台地実行委員の上町台地を巡るディープなトークは必見！時代軸を意識しながら今後の上町台地を考えます。会場は、知る人ぞ知る上町台地の名店「伽奈泥庵」。

企画 上町台地マイルドHOPEゾーン協議会



近藤隆二郎氏(中)/アサダワタル氏(右)

### 30 日常記憶地図 上町台地編

11/28(金)-12/7(日)

会場 <http://mylifemap.web.fc2.com/>

申込 不要 参加費 無料

日常記憶地図は、個人の数年～数十年の日常や記憶、愛着を、地図によりアーカイブすると同時に、「場所の力」を顕在化させるプロジェクトです。上町台地に住む人/働く人、ひとりひとりの日常や記憶を重ねていくことで、その価値を改めて認識し、また違ったまちの風景が見えてくることになるでしょう。

企画 サトウアヤコ



複数の日常記憶地図が重なる場所を、上町台地の「みんなの場所」として、どういう関係性があるかを表示しました。

公園や銭湯、古くからある店などが、観光スポットとはまた違う、日常の中でのスポットであることがわかります。

会期中、そのマップの展示と、希望者に地図を描いてもらうワークショップを行いました。

今後、テーマや場所を絞ってのワークショップやインタビューができればと思います。



### 企画者からのコメント

滋賀県立大学の近藤隆二郎先生と初回のオープン台地のプロデューサーであるアサダワタル氏を招いて、それぞれが過去に上町台地に関わっていた時の事例発表と、今年で5回目を迎えるオープン台地の変遷を話し合いました。

近藤先生は25年前に上町台地をフィールドにして研究や企画を実施しており、「九輪の台地」という上町台地が持つ資源を様々なアイテムを使って魅せて企画の発表や、お彼岸に四天王寺の鳥居に夕陽が沈む動画などを見せていただきました。アサダさんからは初回のオープン台地のテーマ「生活鑑賞」という点をメインに「住む/働く」という視点からお話しいただきました。

両名の発表を通じ、上町台地に脈々と残る大きな意味での「歴史」とは少し違う、平成に入ってから活動を考える良い機会になったのと、トークの中で次年度以降のアイデアをいただいたことが今回の収穫でした。

5回目のオープン台地が歴史軸を整理したことに対応し企画した本企画ですが、時代のレイヤー(層)の明確さが少しわかりにくかったことが反省点です。



21  
22

### 31 複合文化施設「萌」10周年祭

11/29(土) 11:00-19:00

(紙芝居ステージは17:00スタート)

会場 複合文化施設「萌」(中央区谷町6-5-26) 定員 50人(当日先着順) 申込 不要 参加費 無料

空堀の象徴とも言える「萌・練・惣」の3施設。一番最後にできた「萌(ほう)」が今年で10周年を迎えます。今回はこれを記念したイベントを開催します。これまでの歴史をふりかえりながら、「萌」と空堀のまちの魅力をより感じてもらうためのステージイベント(紙芝居一座&パフォーマンスステージ)を会場無料で実施します。

企画 複合文化施設「萌」



### 企画者からのコメント

空堀の象徴的な建物としての「萌・練・惣」。この3つの内、最後に完成した「萌」の10周年イベントということで、地元の方々に改めて来て頂くために、昔懐かしの「紙芝居」をされる方をお招きしました。

当日はクラウンによるパフォーマンスを空堀の街中でしながらチラシを配布してもらいました。クラウンパフォーマンスでは、空堀商店街に突然現れた2名のピエロが繰り広げる、大きなカブのパフォーマンスに、大人も子どももビックリ＆ワクワクして頂きました。紙芝居の公演では、大変貴重な紙芝居「黄金バット」と、環境問題について深く考えさせられる「夢泥棒」を演じて頂きました。参加型の紙芝居に子どもたちは積極的に手を挙げ、演者さんの問いかけに答えていました。昔懐かしの「水あめ細工」や「かためぎ」など、大人も子どもも大興奮。みんな満面の笑顔で楽しんでいただけました。

今回は、2つの企画がうまく連動していたこともあって、部屋に入りきれないほどのお客さんに来て頂くことができ、今の「萌」について知って頂くきっかけになりました。「複合文化施設 萌」を通じて、地域の方々が笑顔になっていただけただけという事が今回の大きな成果です。





### 32 上町台地から伝える

①まち歩き ②フォーラム ③懇親会



12/6(土) ①14:00-15:30 ②16:00-17:00  
 ③17:00-19:00 ④ ①御屋敷再生複合ショップ「練」  
 (中央区谷町6-17-43) ②六波羅真建築研究室③stand/心齋橋Circus1F(中央区東心齋橋1-8-31)  
 ④ ①②各15人 ⑤要申込 ⑥✉rokuhara@roku-hara.com ☎06-7164-7460  
 氏名・電話番号・参加人数・住所を明記の上お送りください。⑦①1,000円(資料、案内代)  
 ②無料③1,500円(飲食費) ⑧空堀での活動拠点「惣」「練」「萌」で学んだ事を、玉造「結」、緑橋「燈」、堺「遊」など他の地域に伝え学んできた案内人「六波羅雅一」が、まち歩き&フォーラムを行います。⑨[企]六波羅真建築研究室 [協]麦酒×珈琲「stand」

**企画者からのコメント** スケジュール的に、まち歩き、フォーラム、懇親会とハードな内容にも関わらず、予約では12人の方が参加予定でした。企画側もかなりハードでしたが、今回、からほりを歩いて、そこから他の地域へ派生していく様子を伝えたいというのが、この企画の趣旨でした。私達も初めての試みでしたが、からほりを自分の目で見、フォーラムで内容を掘り下げていくという事が、非常に参加者の関心に繋がったのかと思えました。

また、企画はいくつもあるが上町台地全体の事を知りたくて、この企画を選んだ、という参加者もいたので、なにかオープン台地の事、上町台地の事を主体とした企画(主催者側は当然知っている内容でも参加者側は知らないことが多いと思うので)少し堅苦しいとは思いますが、上町台地を知ってもらう為にはやはり必要な事なのかなと感じました。



私達は、上町台地を伝える側ですが、参加者側から興味があって来られた方や、学生の卒論の為に来られたという声がある上に、毎年オープン台地への参加者が目に見えて増えているのが分かるので、非常にやり甲斐があるイベントだと感じています。

### 34 からほり軒先フリーマーケット



※参加店舗等詳細はホームページで確認できます。  
 11/30(日) 11:00-17:00(開店時間は店舗によって異なります。詳しくは各店に直接お問い合わせください) ①空堀界隈の各店舗(下記HPに掲載) ②申込不要 ③参加無料 ④この日は空堀のお店で、それぞれの店主による小さなフリーマーケットが町中のいるんところで実施されます。雑貨屋限りやまちあるきも兼ねて、色んなお店のフリーマーケットを回ってみてください。その日限りの掘り出し物も見つかるかも!? 詳細はHPで確認できます。http://karahori-nokisaki.jimdo.com/ ⑤[企]からほり軒先フリーマーケット実行委員会

**企画者からのコメント** 今回は空堀の11店舗が参加し、各お店や事務所などの軒先でフリーマーケットを実施しました。お店の商品の在庫処分セールをされる方、店主の私物をフリマとして販売される方、知り合いの農家さんを呼んで野菜を販売される方など、色々な形での参加がありました。特に今回はお店だけでなく、まちづくりのグループなどの参加もあり、賑やかな雰囲気となりました。各自がある種「乗っかるだけ」というこの「軒先フリーマーケット」というプラットフォームを、好き勝手に使ってまちで遊んでいる感じが出て、今後の展開としても可能性を感じることができました。



### 33 Allright!! Jelly

～空堀の働き方「みんなで仕事をする日」



12/1(月) 11:00-22:00(入退室自由)  
 ①コワーキングスペース往来(中央区谷町6-5-26 複合文化施設「萌」2F) ②定員はありませんが、会場の広さに制限がありますので、混雑状況によりお待ちいただくことがあります。③申込不要 ④参加無料 ⑤交流・仲間作り・意見交換などを目的に、違う会社・業種の人が1つの場所に集まって「顔の見える距離」で一緒に仕事をするための場所が「コワーキングスペース」。この日は特別に無料開放!会社や自宅を飛び出して、違う会社・業種の人と空堀で一緒に仕事をしてみませんか? ⑥[企]コワーキングスペース往来

**企画者からのコメント** 一昨年・去年に引き続き、コワーキングスペースの無料開放という企画で参加させていただきました。これまで同様に、10名以上の方が入れ替わり立ち替わりでやって来られ、グラフィックデザイナー、まちづくり、ライター、鍼灸師、中小企業支援、図書館職員、大学生、演劇、などなど多様な分野の方が来られています。お互いに名刺交換をされている場面もたくさんあり、それぞれに仕事をしながら、新しい出会いがあったり、情報交換があったりと、楽しんでいただきました。



23  
24

### 35 空堀とっておきマップ vol.4



11/28(金)-12/7(日) (各施設営業時間に準ずる)  
 ①複合文化施設「萌」1F階段ホール(中央区谷町6-5-26)、御屋敷再生複合ショップ「練」1F管理事務所前(中央区谷町6-17-43) ②申込不要 ③参加無料 ④「空堀とっておきマップ」はみなさんのとっておき空堀ネタをシェアしてみんなでつくるマップです。いつでも、だれでも、自由に情報を書きこんでいます。情報発信、散策の情報収集にぜひお立ち寄りください。 ⑤[企]からほり倶楽部[協]複合文化施設「萌」・御屋敷再生複合ショップ「練」・長屋すっとくばんくねっとわーく企業組合・六波羅真建築研究室

**企画者からのコメント** 今回初めて、「萌」の他に「練」の共有部にも掲示させてもらい、2カ所でも開催となりました。開催期間中、自由に参加できるようになっており、スタッフは現地には常駐していなかったため、正確な参加者はわからない。萌では、他企画(往来や空堀イロイロマップ)との連動により施設を訪れる方が多かったため、多くの方がマップを見ていたと思われる。

今回は、イロイロマップとの兼ね合いにより大きなスペースを確保できなかったが、前回、前回とは違った内容の書き込みが掲載されていた。

このとっておきマップは、自分掲示し、空堀に居住している方、訪れる方に向けて発信できるツールとして活用していきたい。





## 36 空堀ワークショップフェス

※プログラム等詳細はホームページで確認できます。

11/28(金)-11/30(日) (開催時間は店舗によって異なります) 空堀界隈の各店舗(下記HPに掲載) 各プログラムによって異なります。(下記HPに掲載) 要申込  
http://karahori-ws.jimdo.com/ 普段は服や雑貨を販売していたりするお店が、この日のために、雑貨づくり・フラワーアレンジメント・料理教室・写真教室・陶芸・音楽・ダンス・まち歩きなど、様々なジャンルのワークショップを企画します。  
詳細はHPで確認できます。http://karahori-ws.jimdo.com/  
主 空堀ワークショップフェス実行委員会



### 企画者からのコメント

今回は、38店舗から45個のワークショップのプログラムが集まり、3日間にかけて実施をしました。一部では入りの寂しいものもありましたが概ね好評で、満席になるプログラムも多数出ました。特に印象的だったのは、MAPを片手にまちを歩いている人の多さと、いくつかのプログラムを「はしご」している人の多さでした。1つの参加で満足するのではなく、多い方では1日に5個も回った、という方もおられました。つまり、「元々よく行くお店に行った」だけでなく、これをきっかけに「行ったことないお店にも行ってみたい」という状況が多数起きたことが、このまちを知ってもらうという意味では、大きな成果だったと感じています。



## 38 空堀むすび食堂

12/6(土) 18:00-21:30(随時参加OK)  
三 かいご・かんご塾 胡桃(中央区上本町西3-3-26)  
申込不要  
参加無料(飲み物代等各自実費負担)  
「空堀むすび食堂」は、不定期に現れる交流の場です。この日は、空堀界隈で年間を通して開催される様々なイベントのスタッフ募集などの情報が集まります。空堀でのイベントの運営に関わってみたいという方はお気軽にお立ち寄りください。  
主 空堀むすび食堂実行委員会



### 企画者からのコメント

去年に引き続き、情報交換や交流の場として企画したこの「空堀むすび食堂」、当日も近所の方から遠方の方、子供からおじいちゃんまで、昔から住んでいる方から最近引っ越してきた方、告知を見て来てくれた方から通りすがりの方、東京から遊びに来ててまたま通りがかった方まで、雑多な方々に入れ替わり立ち替わりで総勢約50名ほど集まっていただきました。当日はこの空堀界隈のイベント情報やボランティアスタッフ募集の情報の提供や、商店街のお店情報などを交換したり、初めてそこで出会った人同士でしゃべってもらったりしたことで、この空堀むすび食堂でたくさんの縁をつくることができました。また、「マチオモイ帖展」(Mebic扇町にて来年開催)に作品を出そうと言う話で盛り上がったので、今後の展開にもスムーズに運ぶことができました。



## 37 空堀商店街を夜な夜な歩く 「酒処長屋千鳥足」ツアー

※20歳未満は参加お断り  
※大阪検定関連事業「大阪あるこ」との連携事業です

12/6(土) 17:30-19:30 17:30  
空堀商店街近辺 地下鉄「谷町六丁目駅」4号出口  
10人 要申込 住まいまちづくりネット  
3,000円(各店の1杯目とお通し代)+追加注文代各自実費負担  
一合二合は宵の口。二合たのんで、一合おまけ。さー今宵どなたと酌論議? センベロで飲み倒す、角打ち三軒はしご企画。  
主 大阪商工会議所  
協 長屋すつとくばんくねつとわーく企業組合



### 企画者からのコメント

空堀商店街にある地元の飲食店(立ち飲み屋、アジア料理、ワインバーの3カ所)で飲食を楽しむとともに、ガイドによる案内で路地や商店街を散策しました。参加者からは「リーズナブルな料金で美味しい酒肴を楽しむことができた上、店主との距離が近いことから会話も弾み、商店街の良さを感じた」「空堀界隈に古い街並みが残っている事に気づき、上町台地の新たな魅力に出会えた」など好評の声が多数挙がりました。

ガイドの松富さんの盛り上げが素晴らしく、参加者同士がすぐに打ち解けた雰囲気となり、楽しい時を過ごしました。



25  
26

## 39 風を観る 一さわって感じる 空堀まちあるきの魅力

12/6(土) 13:30-15:30 13:15 御屋敷  
複合ショップ「練」2F サロン・ド・ありす(中央区谷町6-17-43)  
50人 要申込 住まいまちづくりネット 参加無料 近年、観光ユニバーサルデザインや、五感で味わうまち歩きが注目されています。今回は全盲の文化人類学者で、自称「座頭市流フィールドワーカー」の広瀬浩二郎さんに、視覚以外の感覚で楽しむまち歩きについて講演していただきます。視覚で見る観光から、身体でみる観風へ、昭和の風情が残るまち空堀の新たな魅力を発見する有意義な懇談の場になれば幸いです。  
主 空堀まちなみ井戸端会 協 視覚障害者文化を育てる会



### 企画者からのコメント

盲目の文化人類学者・広瀬浩二郎民族学博物館准教授による講演を行った。最初に参加者も含めた全員が自己紹介をした。これにより目の見えない広瀬さんも来場者を掴むことができた。また民族学博物館での、目の見えない人によるワークショップなど今まで取り組んできたことについて話された。特に、点字はそれなりのスペースが必要なことや、視覚障害者はじっくり触って深い情報を得られるため、健常者と比べ多くの情報を網羅的に伝達するには向いていないが、質の高い情報のやり取りに向いていることが指摘された。

これらを踏まえて、前週11/29(土)に本会も共催して行われた空堀盲町まち歩きについて参加者も含めてディスカッションが行われた。同まち歩きでは、視覚障害者文化を考える会(4しよく会)メンバーで、遠くは関東など各地から50名の視覚障害者とサポーターが集まって、4班に分かれてまち歩きをした。触覚を頼りにレンガ積みや二宮金次郎像、地面に有った熊野街道のレリーフがさわって理解できたことの感動が発表された。また節節屋さんでは出汁を味わったり削ったり味覚嗅覚聴覚総動員の体験で特に印象に残った様子であった。詳細な感想は山形大学の山本清龍准教授により整理され本会も入手予定である。それも含め、今回の話を今後の空堀の人にやさしいまちづくりに活かしてゆきたいと思う。





## 40 身近に体験… アコーディオンの魅力

12/6(土) 14:00-16:00 回 13:30

丸善ボタンギャラリー(中央区島町1-1-2) 定員 25人

要申込 住まいまちづくりネット 参加無料 北大江たそがれコンサート Weekで心地よい演奏を聞かせてくれるPOPOGIの林原響子さんが、アコーディオンの楽しさをお伝えします。ミニライブ&楽器体験、初めての方や親子での参加も大歓迎です。みんなでアコーディオンの魅力に触れてみましょう。※小さなお子様連れのご参加もごさいませ。あらかじめご了承ください。 [主]北大江地区まちづくり実行委員会 [協](有)ソハマミュージック、(一社)近畿建設協会



**企画者からのコメント** 北大江地区まちづくり実行委員会は、日ごろ行っている公園の清掃や花植え、道路の清掃や不正使用防止だけでなく、夏には防災実習、秋にはたそがれコンサート、冬にはあったかまち祭りなど、まちのことを少しでも多くの人に知ってもらおう行事を実施しています。

今年は、オープン台地にあわせ、楽器店が多い北大江の特徴を活かしたまちを開く行事として、アコーディオンを身近に親しんでいただく行事を実施しました。

たそがれコンサートWeekで協力いただいている林原響子さんの素敵なミニコンサートを楽しんだ後、アコーディオンの専門家の方を加えて、ボタンアコーディオンを演奏してみる体験をしました。参加された方が趣旨を理解していたことや、時間と人数に無理がなかったので参加した方にはとても満足していただけました。



もっといろいろな人にまちや楽器に親しんでいただける工夫をしたいと考えています。



## 42 ふらりと立ち寄れるフリー参加型BAR ナガスキのある暮らし

12/6(土) 13:30-17:00 (時間内入退場自由)

建築設計室Morizo(中央区安堂寺町1-6-16)

常時10人程度 申込不要(飛び入り参加歓迎)

500円(飲食代)※飲食物持込みの方は無料

「いつでも」、「どこでも」、「だれとでも」繋がれる、きっかけやタイ。シンプル、コンパクト、フレキシブル。どこにでも連れて行けるポータブル屋台「ナガスキ」をきっかけに、人や地域が繋がり、生コミュニケーションが生まれる。懐かしく新しい暮らしのシーンをつくります。 [主]LLP吉野やままち



**企画者からのコメント** 申込制にせず、あまり積極的な告知もしていなかったので参加者が少なかった。通りすがりの方には興味を持たれ、事前を知っていたら参加したかったと言われた。屋外だったので寒かったけど、地域の人にも発信できてよかったと思う。

もう少し賑わいのある場所で、又挑戦したいです。



## 41 とほ鉄で行く! 上町筋線☆電車ごっこ

12/7(日) 12:00-18:00 回 12:00

上本町1~9の交差点(途中乗り降り自由)

上本町一丁目交差点(中央区上本町1) 定員 50人 要申込 住まいまちづくりネット

500円 東西には千日前線と近鉄線、西には谷町線、東にはJR環状線があるのに、なぜ上町筋をタテに結ぶ路線はないんだろう…という思いから生まれた企画。なかなか人が行き交いにくい上本町1~9の交差点を結ぶ架空の路線を想定し、界隈の名所や穴場、おいしいお店を電車ごっこで巡ります!

[主](株)シカトキノ



**企画者からのコメント** 「住まい・まちづくりネット」とオープン台地パンフレット・特設サイトでの告知で、「上本町1~9まで電車ごっこをする」という謎の企画に12名もお申し込みがあったことに驚きました。謎なところがかえって良かったのでしょうか…。

当日はお天気も良く、のんびりと電車ごっこが楽しめました。単なるまち歩きではなく、大人がロープを使って本当に電車ごっこをするというところに、非日常を感じていただけたかと思います。またハイハイタウンのように、わざわざ感のないところをあえて解説付きで見学するという試みも、面白かったようです。

反省点は、時間が長かったこと、電車ごっこの仕掛けが足りなかったこと。次回はもう少しコンパクトに、内容の濃いものにできればと思います。沿線のお店も巻き込んで、「上町5~8ラーメン食歩き電車」など、テーマを設けた電車ごっこや、参加人数を増やして電車ごっこを連結するという企画もおもしろいのではないかと考えています。

初めての企画なうえに下準備が徹底できておらず、不手際も多々ありましたが、おむね喜んでいただけたようで、ほっとしています。企画側も大変楽しかったので、また次回、さらにブラッシュアップして開催したいと思います!



27

28

## 43 はぎれであそぼう! — まあ〜るく織る —

12/6(土) ①14:00-15:30 ②16:00-17:30

①13:50 ②15:50

フェアレティピア(天王寺区味原町2-5)

各6人 要申込 住まいまちづくりネット 500円(材料費・お茶代)

はぎれを細く切って、まあ〜るく織っていくと、円形の座布団になります。特別な道具は不要。どなたでも、簡単にできます。身近にあるはぎれや布なども、ぜひご持参ください。まあ〜るく織りながら、ゆっくりおしゃべりも楽しみましょう。

[主](株)ティピア



**企画者からのコメント** 3名の申込者のうち1名が体調不良で欠席で、別途メールで直接申込者1名を加えた3名で実施しました。予定より、人数が少なかったのですが、想定以上に制作に時間がかかり、1時間ほど延長することになりました。スペース的にも、時間的にもゆとりを持って開催でき、参加者同士がわきあいあいとした雰囲気、大変有意義でした。

また、みなさん織るという作業自体がはじめてで、布には織ったものと編んだものがあるという説明にも熱心に耳を傾けていただきました。身近なものであるはずの布について、小さな発見をして帰っていただきました。

反省点として、申込者が少なかった点です。今回はじめて企画者として参加しました。パンフレットを手にした方やオープン台地に関係している方の申込を優先したく、私からの積極的な広報ができませんでした。あるいは、企画自体の魅力が不足していたのかもしれない。次回は、もう少し参加者を募ることを念頭に企画したいと思っています。

とはいえ、欠席の方も含め、オープン台地をきっかけに知り合えた方々とのご縁を大切にしていきたいとも思っています。



## 44 縁活コンシェルジュと巡る 天王寺七坂とハルカス八景



12/7(日) 13:00-15:30頃 回 12:45-12:55 日

地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」1号出口地上部 定員20人

要申込 住まいまちづくりネット 参加無料(四天王寺拝観料300円各自負担)

天王寺の古くからの名所より「あべのハルカス」がどのように見えるのか歩きながら探るまち歩きです。「清水の舞台」「四天王寺中心伽藍」からのあべのハルカスがお勧め。おすすめスイーツポイントにも立ち寄りませう。主「縁活」ボランティア「まちあるき」チーム 協「あべのハルカス近鉄本店」「縁活」事務局(「縁活」は市民団体や地域の方々と一緒に日々の暮らしや、社会をちょっとよくなる活動を展開する国内百貨店初の取り組み)

### 【来場者アンケートより】

企画者からのコメント ▶予定時間をオーバーしたが、途中でぬける参加者もなく無事に終わることができた。次回はより下見を重ねる等して時間通りにコースをまわりたい。

▶まだまだハルカスを眺められる場所はあるので、次回は違うコースでも行きたい。

▶距離を少し短くした方がよかった。(坂が多かった)



## 45 オープン台地vol.5をふりかえる クロージングトーク



12/14(日) 15:00-17:00 回 14:45-

高津宮富亭(中央区高津1-1-29)

40人 申込不要

参加無料

オープン台地vol.5の開催11日間・47プログラムを企画者と参加者でふりかえります。実行委員会コアメンバーがコーディネートするトークセッションも!オープン台地vol.5の率直な感想をお聞かせください。

企上町台地マイルドHOPEゾーン協議会

### 企画者からのコメント

恒例となったクロージングトークでは、多くの企画者が集まりそれぞれの企画報告をしていただきました。それぞれの土地に対する愛着や、立ち位置の違う方々が作り上げた企画を聞くことができ、オープン台地全体の構成を考えるにあたって非常に有意義な時間となりました。今回はコメンテーターとしてコアメンバーの松本さん、島さんにも入っていただき会場との意見交換をいたしました。早いものでオープン台地も5回目を終え、今後どのような形で継続していくかを考える転換期にあります。当初から関わってくれている方や、今回から新しく入ってくださった方など、多くの方と協力しながら次回も楽しいオープン台地になるように努めたいと思います。



29  
30

今年は充実のMAPプログラム 展示あり、アプリあり!?地図を片手に

## 上町台地をぶらり散歩

## 46 上町台地のMAPが大集合!

### イロイロMAP展 in からぼり

古地図から、商店街の地図、お祭りやイベント地図など、行政から個人まで、イロイロな人々が地図をつくり、イロイロな場所で配布しています。今回それらの地図を一同に集結!それぞれの視点から見た上町台地や空堀の魅力を感じてください。一部のMAPは会場で配布します。ぜひ、MAP片手に上町台地をお楽しみください!

【展示期間】

11月28日(金)~12月7日(日)

【会場】 11:00~17:00

萌 1階階段ホール(中央区谷町6丁目5-26)

入場無料・申込不要

【企画】コジョーマダイサク



### 企画者からのコメント

配布用に置いておいた地図がすごい速さでなくなったので、魅力ある展示会だったのかと思いました。一部、部数の限られた地図があり、興味ある地図を来場者に渡せなかったのが残念でした。

展示スペースの壁が階段ということあり、じっくり見るができなかったのではないかと思います。展示なのでもう少し平たんで、広い空間のほうが良かったかと思ひます。

オープン台地全体としては、5回継続されているので非常に認知度が上がり、イベント開催側としては以前より広告や人を集めることにあまり努力が要らなくなったのかと思ひます。



## 47 オープン台地にスマートフォンアプリが登場?!

### 上町台地ぶらり powered by ちずぶらり

あれこれ発行されている上町台地の地図。全部カバンに入れて持ち歩くのは大変ですよね?そんなあなたに朗報です。スマートフォンアプリ「上町台地ぶらり」では、そんな多数のMAPをまとめてあなたの手の中に!現在地表示もできてとても便利です!詳細はオープン台地特設サイトでチェック!!(11月20日頃公開予定です)

【企画】上町台地マッププロジェクト

【協力】株式会社ATR Creative



### 企画者からのコメント

iPhoneのみの対応であったことや、アプリや地図をダウンロードする手順の煩雑さ、参加者の世代などさまざまな要因から、決して多くの方に利用していただけたとは言えません。しかし、実際にご利用いただいた方からは「地図により親しみを持って」「手元で地図を拡大できて便利」などの反応もいただいています。

IT技術を活用して、地域の歴史や文化をさらに楽しむことができるよい事例ができたと考えています。今回の実績を活かして、閲覧できる地図を増やしたり、より多くの方に使っていただけるよう関連企画を考案するなど今後も充実を図りたいと考えています。





2014年6月14日 16:00-18:00  
高津宮 末広の間  
30名  
1,000円

上町台地 vol.1  
2014年6月14日 16:00-18:00  
高津宮 末広の間  
30名  
1,000円

2014年8月28日 18:45開場+19:00-21:00  
山本能楽堂  
100名  
1,500円

2014年6月14日 16:00-18:00  
高津宮 末広の間  
30名  
1,000円

上町台地 vol.1  
2014年6月14日 16:00-18:00  
高津宮 末広の間  
30名  
1,000円

2014年8月28日 18:45開場+19:00-21:00  
山本能楽堂  
100名  
1,500円

今回開催のプラッとcafeは、オープン台地の企画説明会と同時間開催で「どうする?! 今年のおープン台地」とし、これまで、からほり倶楽部の活動に関わってきた六波羅雅一氏をゲストに迎え、からほり倶楽部発足した経過や、どんな風に組織を維持しながら活動を上げていったのが、また、現在の取り組みについてのお話をうかがいました。

ちょっとした裏話なんかも聞いて楽しい時間でした。まちづくりに関わる皆さんの良い刺激になったのではないのでしょうか。オープン台地だけでなく、まちに関わり、まちを楽しむヒントを見つけられる機会となったように思います。



「どうする?! 今年のおープン台地」vol.2では、ランドスケープアーティストのハナムラチカヒロ氏をゲストにお迎えし、オープン台地に向けた事例研究会を開催しました。会場は山本能楽堂です。

風景の半分は想像力で出来ている。

自分と場所との関係性を異化する=まなざしをデザインするというテーマで、「GENBA REMIX」中之島新線の工事現場でのファッションショーや、應徳院でのパフォーマンス「エクソダス」など幅広い活動のお話をうかがいました。

充実、盛りだくさんの2時間でした!

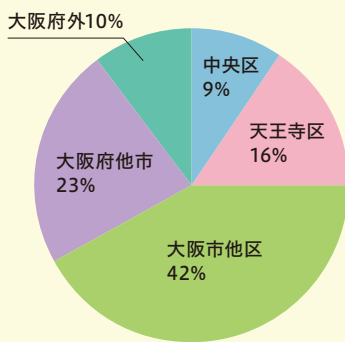


31  
32

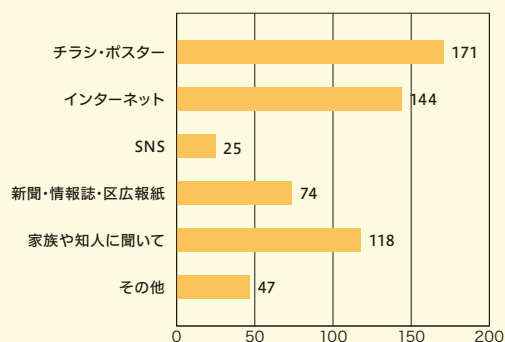
## オープン台地 vol.5 アンケート①

オープン台地vol.5を数字でふり返ります。今回は参加者アンケートに加えて、企画者向けアンケートも充実させました。アンケートのまとめとして、このオープン台地をテーマとして研究に取り組んだ大阪市立大学の大学院生でコメンターでもある島瑞徳さんからのコメントも掲載しています。

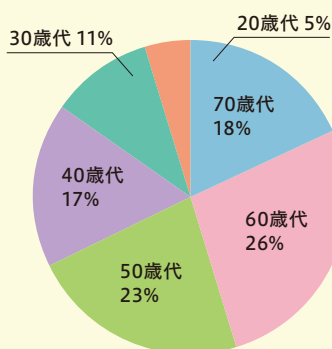
Q 現在どちらにお住まいですか?



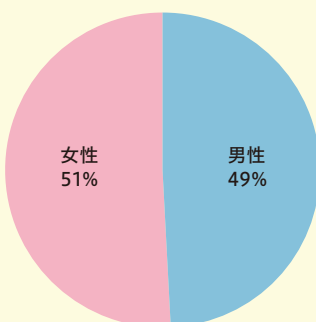
Q オープン台地について何でお知りになりましたか?



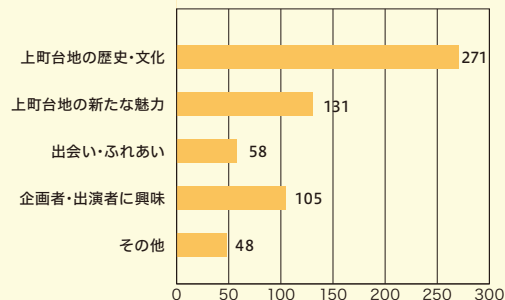
Q あなたの年齢は?



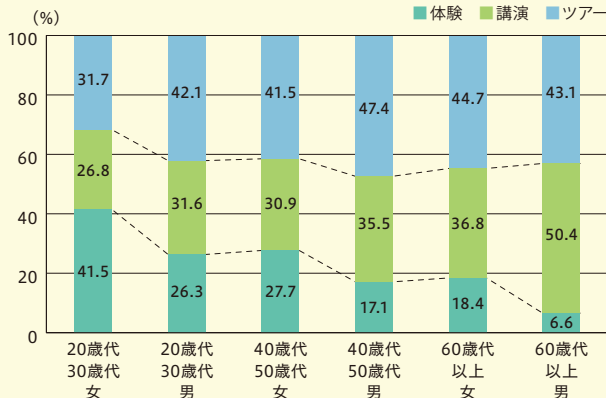
Q あなたの性別は?



Q どのような理由でオープン台地にご参加いただきましたか?



【参加者の属性と参加プログラムの傾向】



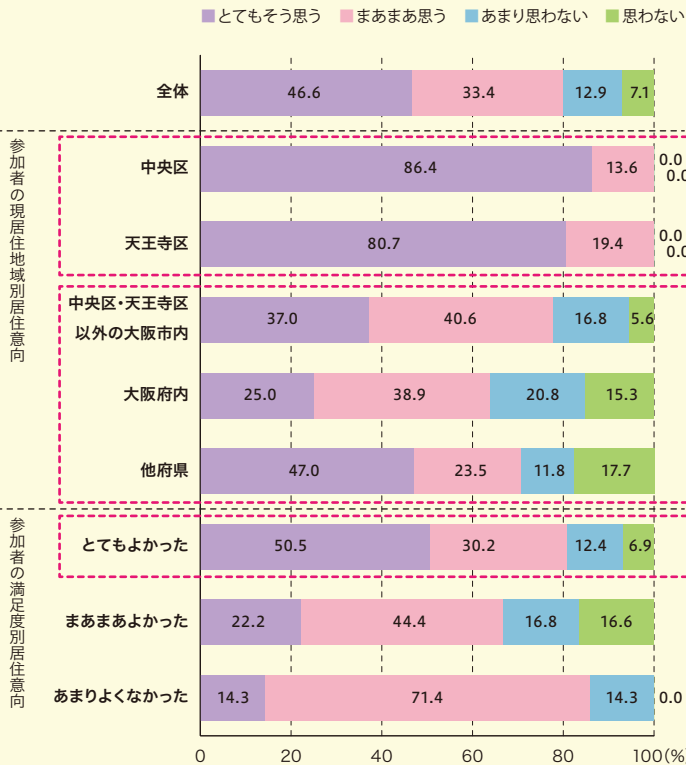
	20歳代・30歳代		40歳代・50歳代		60歳代以上	
	女	男	女	男	女	男
体験	5	17	13	26	9	14
講演	6	11	27	29	69	28
ツアー	8	13	36	39	59	34
総計	19	41	76	94	137	76

- ❖20・30歳代の若い世代の参加者は、体験系のプログラムに多く参加し、高齢の参加者は講演形式プログラムに多く参加
- ❖ツアー形式のプログラムは、性別、年齢の差がない

33  
34

【参加者の居住意向からみた評価】

<参加者の現居住地地域別・満足度別居住意向(上町台地に住みたいか・住み続けたいか)>



参加者

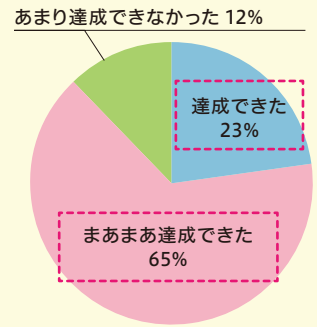
- ❖地域居住者 ⇨ 住み続けたい
- ❖その他の地域居住者 ⇨ 住んでみたい
- ❖プログラムの満足度 ⇨ 高いほど居住意向率も高い

【企画者の満足度と参加者の評価】

企画者

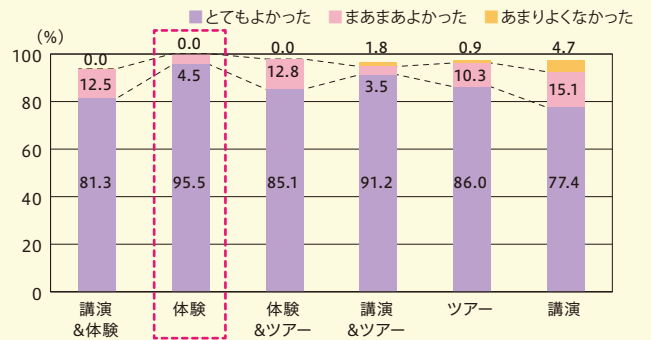
プログラムの目的  
❖上町台地の各エリアの新たな魅力を伝えたい  
❖上町台地の普段気づかない魅力を伝えたい

プログラムの目的は  
概ね達成



<企画者の企画目的達成度>

<プログラムの特徴別 参加者満足度>

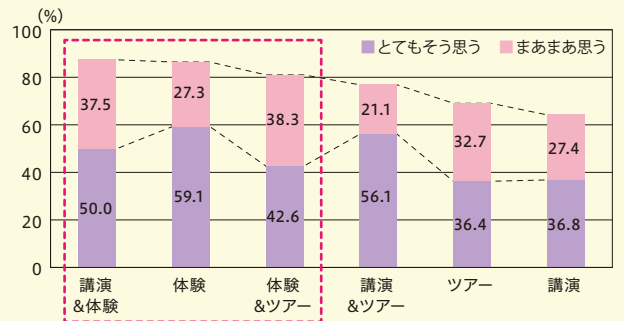


参加者

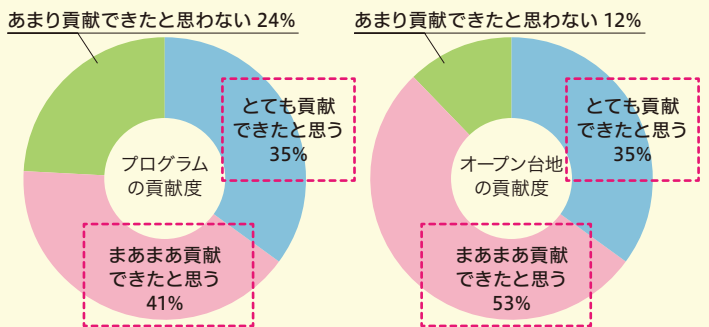
- ❖プログラムに関わらず全体的に満足
- ❖特に体験型プログラムで満足度が高い

【プログラム別の居住意向評価】

<参加者のプログラム別居住意向(上町台地に住みたいか・住み続けたいか)>



<居住魅力向上への貢献度(企画者による評価)>



参加者

- 体験型参加者の居住意向が高い
- ⇨ 企画者と参加者の交流が効果的

企画者

- 居住意向に繋がったと評価
- ⇨ 様々な主体による多様なアプローチが実現

➔ オープン台地開催で上町台地に住みたくなる



## オープン台地 vol.5 アンケート③

今後も寺院の協力のもとオープン台地企画を続けてください。

天王寺区在住60代男性 プログラム参加

普段入ることができない所を見ることができて良かったと思います。上町台地の地下にはいろんな歴史が眠っていることがわかりました。オープン台地、今後も続けてください。

大阪市在住40代男性 プログラム参加

前回参加して感銘を受け今回参加しました。内容がすばらしく、大阪独特の文化に触れられ良かったです。

大阪市在住40代女性 プログラム参加

地域の良さを知ることができた。この良い地域を住民で守っていきたい。

中央区在住70代男性 プログラム参加

「これまで」と「これから」がつながっていきそうだったところが良かった。

大阪府外在住40代女性 プログラム参加

触発者が企画するまちあるきというアイデアが良かった。会場の雰囲気も悪くなかった。引越などが面倒でなかったら一度住んでみたい街です。

大阪府外在住40代男性 プログラム参加

日頃は立ち止まることのない上町筋の店を知ることができて良かったです。電車ごっこというユニークな試みも面白く、参加者同士が仲良くなり、上町台地の空気感を感じるきっかけになれば良い。

中央区在住30代女性 プログラム参加

糸を紡ぐことで“布”にまたなっていくことがおもしろかった。上町台地って歴史的にも(アースダイバー的にみても)人と大地の繋がりがある場所と思うのでこんな企画をもっとしてほしい。

大阪市在住50代女性 プログラム参加



### アンケートから見た 「オープン台地」

オープン台地実行委員会 コアメンバー  
大阪市立大学大学院工学研究科  
島 瑞穂

今年度初めてコアメンバーとしてオープン台地にかかわらせていただき、更に修士論文として研究をさせていただき、大変感謝しております。何となく知った気になっていた「オープン台地ってどんな？」という疑問を明らかにしたいという思いから、修士論文で『広域地域協働まちづくりの効果の持続性に関する研究「オープン台地 in OSAKA」を事例にして』と題して、研究を行いました。

様々な地域で、地域活性化などまちづくりの手段として、様々なイベントが活用されています。その中で、オープン台地は大変広い地域で開催しており、地域の関係者も多いことから、多様で多彩なプログラムで構成していることが特徴です。その特徴を活かした、オープン台地の効果と、継続性について検証すべく、アンケート調査を行い、その結果を分析しました。過去5回の実績から、認知が広がり、年々幅広くご参加頂いている事がわかった一方で、プログラムの企画参加者の門戸をより広げる必要が明らかとなり、地域のポテンシャルを活かした新たな魅力の掘り起こし、見せ方の工夫を相互の交流の中から見出すことが求められ、今後の継続的発展が期待されます。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました！

35

36



### 上町台地から 「時代」を考える

オープン台地実行委員会 コアメンバー  
釜中 悠至

今回も成功裏にオープン台地を終えることができました。この場をお借りしてご協力、ご参加いただいた皆さまにお礼を申し上げます。5回目を迎えた今回、各企画を「時代」ごとに整理しました。その背景には、とかく何かを振り返る時に使ってしまう「昔は…」という言葉に違和感を感じたことに起因しています。その「昔は…」は時代を大きく飛び越えて、何もかも同じ枠で囲ってしまう少し乱暴な印象があります。そこで大枠ではありますが「古代」「大阪城築城400年」「明治・大正・昭和」「現代」と分類しました。

歴史の積み重ねが豊富で、かつ対象エリアが広域に及ぶ上町台地だからこそ際立つものがたくさんあります。エリアと時間軸、ふたつの大きな軸を考える時に、今あるもの、もしくはひとつの地域だけで見えているものが全てではなく、少し大きな視点で捉えることで見えてくる新たな気づきや初志に立ち戻る機会になるのではないかと考えるわけです。

今はスピードや効率が重視され、玉石混淆の情報で飽和状態にあります。オープン台地は、そんな複雑に入り組んだ現代社会に鋭いメスを入れ直ちに優秀な人材を派遣する、というよりは、それぞれの地域、活動も掘り下げると見えてくる脈々と受け継いできた歴史にしっかりと目を向けて、未来につながるヒントを探っていく役割を担えればと思います。



### 上町台地における 「オープン台地」の意味

オープン台地実行委員会 コアメンバー  
大阪大学大学院工学研究科  
松本 邦彦

5回目の開催となるオープン台地も、関係者の皆さまのご協力のもと無事終えることができました。ありがとうございました。今年度からコアメンバーとして企画運営に関わる貴重な機会を頂き、感謝しています。

オープン台地は、地形区分の1つである「台地」が舞台です。区を跨ぐ広域の上町台地は、坂道が多いといった共通点はあるながらも、区域内には様々な個性を持つ地区が存在します。広大かつ多様性に富んだ区域一帯を対象としたオープン台地の功績は一体どこにあるのでしょうか。

上町台地では、空堀、北大江、寺町界限など、程度に差こそあれ、それぞれの地域の日常の中で住まい方、働き方、楽しみ方を考える活動が行われています。オープン台地は、こうした日常を「ハレの場」に転換する装置となっているのではないのでしょうか。小学校の授業参観では、いつもの教室で、いつもの授業が行われるけれども、いつもと違う「見る-見られる」の関係が生まれることで、子どもは頑張るし、保護者も子どもの違う側面に触れることができます。同様にオープン台地が、上町台地での日常を見てもらうハレ舞台となり、多方面からの魅力を伝え、また地域内外の人々の関係性に良い刺激を与えていると思います。

オープン台地は、限られた期間ではあるけれども、地域がハレに転換するスイッチとして、とても重要な役割を担っているのではないのでしょうか。



## ひとの〈生きる〉が見えるまち

上町台地マイルドHOPEゾーン協議会 理事

秋田 光彦（應典院住職）

上町台地は中高年の聖地である。古くから続く伝統ブランドは不動の人気を誇り、今でも歴史ウォークや文化講演が週末のたびに催される。そのこと自体はわるいことではない。おかげで、このエリアは文化集積区として、市内で「住みたい街ナンバー1」となった。

一方で若者たちや子育て世代にとってはどうだろう。通学の学生は別にして、仕事や生活の面から考えると、上町台地は高嶺の花に近い。あそこは経済的にも時間的にも余裕のあるシニアが集う街であって、自分たちには縁のない場所と認識されていたのではないかな。

平成18年に上町台地マイルドHOPEゾーン協議会が発会した時、私にとっていちばん大きなインパクトは空堀界隈の活況だった。詳細はここでは省くが、博物館のような街だった上町台地に、町家の小商いが次々生まれ、ニューカマーによる働き方や暮らし方が注目された。NPOやコミュニティビジネスが注目されはじめた頃でもある。上町台地というエリアに、リアルな「生きる」が吹き込まれた。

歴史と伝統の街だから変化や創造には疎い、ではいけない。仕事とか生活は移り変わりがあって、なかなか落ち着かないのだが、それをも受け入れるキャパシティとかエンパワメントこそ本当の伝統の凄みなのではないか。歴史は長大な時間の連続であるが、その末端にはささやかでも、今を生きる人々の夢もあるはずだ。それを実現できてこそその伝統ブランドだと思う。

平成22年、オープン台地がスタートした際のコンセプトは、まさに「生活鑑賞」だった。名所旧跡巡りでなく、この地で生身の仕事とかふだんの生活を開くという着想だった。以来、キャッチを「上町台地と、ここで暮らす人の魅力を感じるまちびらき」と変えながら、今回で5回を重ねる。当初の「住みびらき」のアイデアとは少し異なるものの、オープン台地は新しい担い手を呼び込んだ。ここで暮らし、活動を志す若者たちだ。

20年近く上町台地にかかわってきて、私は実感するのだが、彼らの仕掛ける上町台地はこれまでと相貌がまるで違った。対話、アート、ツーリズム、ソーシャルビジネス……一人称のまちづくりといえはいいのだろうか。文化財や歴史財がありきではなく、そこが自分たちの仕事や生活舞台としていかに可能性にあふれているか、等身大のまちの魅力が語られたのである。

急いで付け加えておくと、若者は歴史や伝統に関心がなかったわけではない。むしろ、それらを遠景に据えながら、自分たちの生き方を近景にとらえるパースペクティブは、目先の事柄にとらわれやすい彼らに別のスケールを与えたのではなかったか。大阪城も四天王寺も見上げてばかりではつまらない。悠然とわが身と向き合うことで、上町台地は賦活するのだと思う。

オープン台地のこのスタイルは、しばらくこのまま続いていこう。若いリーダーが登場しはじめているし、研究者の参加も心強い。地元の天王寺区が起業家支援事業に取り組み始めたのもおもしろい。若い人にとって「生きる」は「働く」に直結しているから、ここならではの起業の成功は息の長いまちづくりを支える。

くりかえすが、上町台地は中高年の聖地である。昔からこの地に暮らす高齢者は多い。四天王寺や寺町は巡礼のまちだし、医療・福祉施設の充実も他をしのぐ。この地の固定層とっていい。次のオープン台地では、若い世代と中高年世代が交流する場がつかれないだろうか。歴史や伝統が、年表だけでなく、生活の中で共有され、語り継がれていく。介護や医療といった仕事の掘り起こしにもなるし、既存家屋を運用して今注目の「世代間同居」を促すのもいいだろう。

世代や価値観、仕事や生活の違いを超えて、みんなが上町台地の同心円上に共生している。それでこそ、伝統ブランドの本領ではないか。



37

38